

区政を聞く 一般質問(要旨)

詳しい内容は、会議録(8月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

日本共産党葛飾区議会議員団
震災対策として小中学校、公共施設などの改善を急ぐべき

新基本計画
問非構造部材について、学校施設をはじめとする公共施設の総点検を直ちに実施し、実施計画をつくり改修を急ぐべきと思うかどうか。

答新基本計画における27年度までの「緊急防災3か年プロジェクト」では、第一位の避難所となる区立小中学校と第二位の避難所となる公共施設の外壁や窓ガラスなどの安全点検とそれに伴う修繕等を実施する。あわせて、学校では修繕等の必要な経費は取ってあるので、危険な部分については適切に対応する。

問「区民のご意見を伺う会」では、学校選択制に反対する意見が多数出された。地域としても子どもたちの安全を守るという観点から、また、まちづくりという観点から学校選択制に対して見直しを求める声が増強しに強くなっている。区民の声を真摯に受け止め、見直すべきと思うかどうか。

答学校選択制については、今後も必要な改善を加えながら、保護者や子どもも希望に添える学校づくりがより一層進むよう取り組んでいきたい。

※他の質問項目 旧耐震化基準家屋の助成 など

環境対策
問本年7月から電力固定価格買取制度が始まり、今以上に太陽光発電への関心が高まるのが予想されるが、太陽光発電システムの助成額を引き上げ設置世帯を増やしていく事業を展開すべきと思うかどうか。

答昨年の夏は、震災後の緊急節電対策として、助成限度額を大幅に拡充しており、助成対象も増やした結果件数も倍増している。再生可能エネルギーの利用促進の観点から、国や東京都の動向などを踏まえ、他の自治体の例も参考にしながら普及に努めていく。

※他の質問項目 区民向けLED電球の購入費助成の復活

放射能対策
問本区の現行の除染基準は地上1センチメートルで毎時1マイクロシーベルト以上とし、近隣自治体と比較してあまりにも高い。除染基準を見直すべきと思うかどうか。

答本区は汚染状況重点調査地域に指定されており、除染基準は各自自治体の判断になる。区内33カ所の空間放射線測定結果、面的に汚染されていないと考え、文部科学省が定める基準を上回る空間放射線量低減の取り組みを行っており除染の基準を変える予定はない。

※他の質問項目 放射能対策の改善策

他の質問項目 熱中症対策

民主 党 葛 飾
新基本計画と堀切のまちづくり
問今後10年のスケジュールまたは、その方向性とビジョンを区民に分かりやすく発信していく必要があると思うか見解を伺う。

答できる限り区民に分かりやすい形で発信していくように努めていく。

※他の質問項目 教育環境の充実



都市計画道路補助第277号線(東金町三丁目付近)

自由民主 党 議員 団
夢と誇りあるふるさと葛飾実現に向け、区民目線の業務改善を

掘切のまちづくり
問京成堀切高蒲園駅は、駅前のスペースが少なく、非常に不便な状況である。京成電鉄への申し入れと並行し、区民の利便性向上を図っていくべきか考えるが、区の見解を伺う。

答京成電鉄への申し入れと並行し、区民の利便性向上を図っていくべきか考えるが、区の見解を伺う。

緊急啓開道路
問都市計画道路整備の進捗状況について、答国道や都道を含め、完成率は約66%、19路線33区間、延長8.4kmの用地買収や整備工事を行っている。

他の質問項目 東京都方式の採用

再生可能エネルギーの推進
問今年度策定予定の地球温暖化対策実行計画の概要について伺う。

答新基本計画や実施計画と整合を図り、地域特性を活かした、積極的に具体的な計画とした。

※他の質問項目 公共施設への再生可能エネルギーの導入 など

「ホテルの里」づくり
問新基本計画へ盛り込み、早期実現を望む。

答新基本計画の自然環境を活かした観光まちづくりの事業例とする予定である。

※他の質問項目 新規事業 など

他の質問項目 東京理科大学の開学に合

食品中の放射性物質検査
問今年度行う給食検査の概要と、すでに中や各都府県で検査が行われている中、区独自で給食検査を実施する目的について伺う。

答生産・流通段階での検査が国や各都府県で行われており、食品の安全性は保たれている。しかし、またに絶えない区民の不安を解消するため区内で給食を提供する子育て・教育の全周施設で、年3回検査を実施することとした。検査結果は各施設において保護者に通知するとともに、ホームページでも公表する。

※他の質問項目 区民持ち込みの食品の検査の実施回数増 など

再生可能エネルギーの推進
問葛飾の特性を活かした新たな再生可能エネルギー開発を、東京理科大学や区内産業界との連携により進めていくべきか考えるかどうか。

答再生可能エネルギーの開発には研究機関や産業界との連携・協力が必要である。策定中の新基本計画にも重要プロジェクトの一つに位置付け、東京理科大学や区内産業界と連携して推進していく。

※他の質問項目 普及状況 など

建築物の高さのあり方
問都市計画マスタープランにおける、建築物の高さのあり方の方針について伺う。

答土地の有効・高度利用を図る地区とゆりのある土地利用を図る地区とのメリハリを付けた市街地形成という点を考慮して方針を示している。

※他の質問項目 影響を受ける建築物など

亀有地域における観光振興の推進
問亀有公園を観光スポットとして整備してはどうか、区の見解を伺う。

答亀有公園の整備は観光客の利便性を向上させ周辺散策につながるものと考え、駅構内に設置予定の観光案内板周辺に、観光マップなどが配布できるラックを設置できるようにする。

※他の質問項目 外国語表記 など



亀有公園

学校教育
問小規模校、単学級校にはリットもあるが、デメリット解消のために統廃合も含めた学校改革計画を提示し改善を実施すべきか考えるかどうか。

答小規模校の存在や将来の児童生徒数予測などを踏まえ、学校規模の適正化の検討は必要である。また校舎の老朽度や将来の児童生徒数予測などを踏まえ、改善計画及び適正規模の検討が必要である。今後策定する実施計画に向けて検討を行っていく。

※他の質問項目 計画的な改善 など

確かな学力の定着度調査
問東京都による調査結果との比較も踏まえ、区内の小中学生の学力の定着状況をどのようにとらえているのか。

答東京都の「児童・生徒の学力の向上を図るための調査」において、すべての教科で平均正答率を下回っていた。児童・生徒一人ひとりの学習状況を把握し、授業改善や個別的指導を徹底する必要があると考える。

※他の質問項目 調査の目的 など

無所属議員(※2)
問区民融和の為に徹底除染で健康不安解消と地元経済の脱風評

学校改革
問小規模校、単学級校にはリットもあるが、デメリット解消のために統廃合も含めた学校改革計画を提示し改善を実施すべきか考えるかどうか。

答小規模校の存在や将来の児童生徒数予測などを踏まえ、学校規模の適正化の検討は必要である。また校舎の老朽度や将来の児童生徒数予測などを踏まえ、改善計画及び適正規模の検討が必要である。今後策定する実施計画に向けて検討を行っていく。

※他の質問項目 計画的な改善 など

確かな学力の定着度調査
問東京都による調査結果との比較も踏まえ、区内の小中学生の学力の定着状況をどのようにとらえているのか。

答東京都の「児童・生徒の学力の向上を図るための調査」において、すべての教科で平均正答率を下回っていた。児童・生徒一人ひとりの学習状況を把握し、授業改善や個別的指導を徹底する必要があると考える。

※他の質問項目 調査の目的 など

無所属議員(※2)
問区民融和の為に徹底除染で健康不安解消と地元経済の脱風評



基本計画、除染関係ガイドライン(環境省資料引用) 全国学力・学習状況調査(文部科学省資料引用)

区政を聞く 一般質問(要旨)

詳しい内容は、会議録(8月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

日本共産党葛飾区議会議員団
震災対策として小中学校、公共施設などの改善を急ぐべき

新基本計画
問非構造部材について、学校施設をはじめとする公共施設の総点検を直ちに実施し、実施計画をつくり改修を急ぐべきと思うかどうか。

答新基本計画における27年度までの「緊急防災3か年プロジェクト」では、第一位の避難所となる区立小中学校と第二位の避難所となる公共施設の外壁や窓ガラスなどの安全点検とそれに伴う修繕等を実施する。あわせて、学校では修繕等の必要な経費は取ってあるので、危険な部分については適切に対応する。

問「区民のご意見を伺う会」では、学校選択制に反対する意見が多数出された。地域としても子どもたちの安全を守るという観点から、また、まちづくりという観点から学校選択制に対して見直しを求める声が増強しに強くなっている。区民の声を真摯に受け止め、見直すべきと思うかどうか。

答学校選択制については、今後も必要な改善を加えながら、保護者や子どもも希望に添える学校づくりがより一層進むよう取り組んでいきたい。

※他の質問項目 旧耐震化基準家屋の助成 など



学校体育館(住吉小学校)

環境対策
問本年7月から電力固定価格買取制度が始まり、今以上に太陽光発電への関心が高まるのが予想されるが、太陽光発電システムの助成額を引き上げ設置世帯を増やしていく事業を展開すべきと思うかどうか。

答昨年の夏は、震災後の緊急節電対策として、助成限度額を大幅に拡充しており、助成対象も増やした結果件数も倍増している。再生可能エネルギーの利用促進の観点から、国や東京都の動向などを踏まえ、他の自治体の例も参考にしながら普及に努めていく。

※他の質問項目 区民向けLED電球の購入費助成の復活

放射能対策
問本区の現行の除染基準は地上1センチメートルで毎時1マイクロシーベルト以上とし、近隣自治体と比較してあまりにも高い。除染基準を見直すべきと思うかどうか。

答本区は汚染状況重点調査地域に指定されており、除染基準は各自自治体の判断になる。区内33カ所の空間放射線測定結果、面的に汚染されていないと考え、文部科学省が定める基準を上回る空間放射線量低減の取り組みを行っており除染の基準を変える予定はない。

※他の質問項目 放射能対策の改善策

他の質問項目 熱中症対策

民主 党 葛 飾
新基本計画と堀切のまちづくり
問今後10年のスケジュールまたは、その方向性とビジョンを区民に分かりやすく発信していく必要があると思うか見解を伺う。

答できる限り区民に分かりやすい形で発信していくように努めていく。

※他の質問項目 教育環境の充実

自由民主 党 議員 団
夢と誇りあるふるさと葛飾実現に向け、区民目線の業務改善を

掘切のまちづくり
問京成堀切高蒲園駅は、駅前のスペースが少なく、非常に不便な状況である。京成電鉄への申し入れと並行し、区民の利便性向上を図っていくべきか考えるが、区の見解を伺う。

答京成電鉄への申し入れと並行し、区民の利便性向上を図っていくべきか考えるが、区の見解を伺う。

緊急啓開道路
問都市計画道路整備の進捗状況について、答国道や都道を含め、完成率は約66%、19路線33区間、延長8.4kmの用地買収や整備工事を行っている。

他の質問項目 東京都方式の採用

再生可能エネルギーの推進
問今年度策定予定の地球温暖化対策実行計画の概要について伺う。

答新基本計画や実施計画と整合を図り、地域特性を活かした、積極的に具体的な計画とした。

※他の質問項目 公共施設への再生可能エネルギーの導入 など

「ホテルの里」づくり
問新基本計画へ盛り込み、早期実現を望む。

答新基本計画の自然環境を活かした観光まちづくりの事業例とする予定である。

※他の質問項目 新規事業 など

他の質問項目 東京理科大学の開学に合

食品中の放射性物質検査
問今年度行う給食検査の概要と、すでに中や各都府県で検査が行われている中、区独自で給食検査を実施する目的について伺う。

答生産・流通段階での検査が国や各都府県で行われており、食品の安全性は保たれている。しかし、またに絶えない区民の不安を解消するため区内で給食を提供する子育て・教育の全周施設で、年3回検査を実施することとした。検査結果は各施設において保護者に通知するとともに、ホームページでも公表する。

※他の質問項目 区民持ち込みの食品の検査の実施回数増 など

再生可能エネルギーの推進
問葛飾の特性を活かした新たな再生可能エネルギー開発を、東京理科大学や区内産業界との連携により進めていくべきか考えるかどうか。

答再生可能エネルギーの開発には研究機関や産業界との連携・協力が必要である。策定中の新基本計画にも重要プロジェクトの一つに位置付け、東京理科大学や区内産業界と連携して推進していく。

※他の質問項目 普及状況 など

建築物の高さのあり方
問都市計画マスタープランにおける、建築物の高さのあり方の方針について伺う。

答土地の有効・高度利用を図る地区とゆりのある土地利用を図る地区とのメリハリを付けた市街地形成という点を考慮して方針を示している。

※他の質問項目 影響を受ける建築物など

亀有地域における観光振興の推進
問亀有公園を観光スポットとして整備してはどうか、区の見解を伺う。

答亀有公園の整備は観光客の利便性を向上させ周辺散策につながるものと考え、駅構内に設置予定の観光案内板周辺に、観光マップなどが配布できるラックを設置できるようにする。

※他の質問項目 外国語表記 など



堀切高蒲園駅

学校教育
問小規模校、単学級校にはリットもあるが、デメリット解消のために統廃合も含めた学校改革計画を提示し改善を実施すべきか考えるかどうか。

答小規模校の存在や将来の児童生徒数予測などを踏まえ、学校規模の適正化の検討は必要である。また校舎の老朽度や将来の児童生徒数予測などを踏まえ、改善計画及び適正規模の検討が必要である。今後策定する実施計画に向けて検討を行っていく。

※他の質問項目 計画的な改善 など

確かな学力の定着度調査
問東京都による調査結果との比較も踏まえ、区内の小中学生の学力の定着状況をどのようにとらえているのか。

答東京都の「児童・生徒の学力の向上を図るための調査」において、すべての教科で平均正答率を下回っていた。児童・生徒一人ひとりの学習状況を把握し、授業改善や個別的指導を徹底する必要があると考える。

※他の質問項目 調査の目的 など

無所属議員(※2)
問区民融和の為に徹底除染で健康不安解消と地元経済の脱風評



京成本線荒川橋梁

学校改革
問小規模校、単学級校にはリットもあるが、デメリット解消のために統廃合も含めた学校改革計画を提示し改善を実施すべきか考えるかどうか。

答小規模校の存在や将来の児童生徒数予測などを踏まえ、学校規模の適正化の検討は必要である。また校舎の老朽度や将来の児童生徒数予測などを踏まえ、改善計画及び適正規模の検討が必要である。今後策定する実施計画に向けて検討を行っていく。

※他の質問項目 計画的な改善 など

確かな学力の定着度調査
問東京都による調査結果との比較も踏まえ、区内の小中学生の学力の定着状況をどのようにとらえているのか。

答東京都の「児童・生徒の学力の向上を図るための調査」において、すべての教科で平均正答率を下回っていた。児童・生徒一人ひとりの学習状況を把握し、授業改善や個別的指導を徹底する必要があると考える。

※他の質問項目 調査の目的 など

無所属議員(※2)
問区民融和の為に徹底除染で健康不安解消と地元経済の脱風評